

2019 参院選

性的少数者に関わる政策課題についてのアンケート・回答
愛知選挙区候補者



安楽死
制度を考える会
公認
牛田 ひろゆき

アンケートを頂きありがとうございます。
参議院選挙 愛知選挙区より立候補しました。
安楽死制度を考える会
牛田ひろゆきです。
私の考えを伝えさせていただきます。

1 自治体で行われた性的少数者についての大規模調査について

賛成です。
調査は拡大すべきである。
全国の政令指定都市で調査するべきだと思います。
私は、以前マハラジャ名古屋で働いており、オープニングの従業員を募集したところ
1人の方がアルバイトの面接に来られました。
その人は
面接時に
僕はLGBTです！と堂々と話され
私の方が無知でLGBTは何ですか？と聞いて説明をもらいました。
元々、夜働くことが多くLとGは知っており、友達も何名かおりました。
そして、他の人と区別することなく、個人の個性とっていて特に問題視せず、「仕事をき
つちんとしてくれれば大丈夫です！」
と伝え採用し、働いてもらいました。
本人が他に認められくらい努力し、仕事を覚え活躍したので、アルバイトから社員にまで
なり、また同じLGBTの人を紹介されアルバイトスタッフの雇用に貢献してもらいました。
残念ながら個人の都合で退職されましたが、面接時に堂々と話された事は凄く印象に残っ
ております。
また、ダンサーもLGBTの人に頼み、毎週お店の盛り上げから接するお客様への配慮で多
くの方に喜んで頂き店舗運営で貴重な存在となっております。
周りにどれくらいLGBTの人がいるかわからないし、声を出せない人も多くいるのでは、
と思うので調査はすべきである。と思います。

2 同性婚について

賛成です。
好きでない異性と付き合うくらいなら、好きな同性と長くいる方が続くと思います。
内縁関係や同性婚について
公的な部分は理解してないことが多く語れませんが、他の自治体で認められた
パートナーシップ制度



安楽死
制度を考える会
公認
牛田ひろゆき

他の自治体でできたので名古屋市でも実施して良いのでは。と思います。

代表の方、市議選に出馬されてはいかがですか？

問題視されない事よりも理解されること、また公共施設などの改善は自ら出馬し問題点を議会で論議された方が伝わります。

何に困っているか、理解されない事があるかと思われます。

公共施設のトイレなど個別に設けられたり、LGBTの方が日常で困っている事を伝えるには、やはり自ら議会で話し周りの議員に知ってもらう事が大切です。

私もスタッフとして、みじかにいる事で更衣室はどうすべきか考えました。

何に困っているかわからない事があるので、代表の方が名古屋市も変える！

LGBTが住みやすい町にするには、やはり市議会議員になり議会で話される事が良いと思います。

議員は市民の困っている事を受け止めると選挙の時は言いますが、終わって議席をとれば「一度声を上げてみるくらいか」だし本当に何に困っているのかわからないです。

やはり改善されるまで言い続けるには議会に出て声を出すことが大切だと私は思います。

3 現職議員による、性的少数者に対する無理解があると言われる発言について

好きになる人が同性である、当事者でない議員は理解されないこともあると思われます。

発言されること自体、物議になりましたが

「しゃべらなければ良い」と黙っていられると、何も前に進まず心の中まで見えないまま、LGBTの人の悩みなど理解されなです。

生産性がないという言葉は、LGBTの人へ配慮がなく問題ありますが、物議になることで批判され意見を聞く事になったかもしれませんので、黙っていられた時よりは、物議された方が前に進んだと考えておりました。

皆さんの悩み

私自身もわからない事が多いです。

声を出せる環境、話すことにより変わることもあります。

変えていくには、市議選に出て理解され、わかってもらう事も必要かと思ひます。

立候補は誰でも出来ます！

みじかに困っていることを変えるのが政治です。

選挙のときだけ、公約的に訴える立候補者じゃなく、自ら議会で発言までできれば変わっていくかと思ひます。

一人一人が集まり一つの団体になれば声として発する機会ができるはずです。